



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

日頃の学習成果を発揮・・・ 地区英語弁論大会・少年の主張大会

日頃から文武両道を大事にしている宮中生。この夏季休業中も、部活動だけでなく日々の学習や弁論、作文等、様々な分野で自分を磨き上げている姿がありました。

8月22日（火）には、宮内・蔵楽を会場に、置賜地区英語弁論大会が開催されました。本校代表として、暗唱の部に3年仙田彩歌さん、スピーチの部に3年小笠原陸さんと3年矢野友佳さんが出場しました。学年で発表した時以上に、大変素晴らしい仕上がりでした。その結果、小笠原さんが第2位、矢野さんが第3位を獲得しました。

また、8月25日（金）には、えくぼプラザを会場に、少年の主張地区予選が行われました。この大会には、3年菅原ひなのさんと3年滝澤こころさんが出場しました。「自分の想いをしっかりと発表できてよかった。」と二人は振り返ってくれました。菅原さんが第3位となり、9月15日（金）に、伝国の杜で行われる置賜ブロック大会に駒を進めることになりました。さらに磨きをかけ、当日につなげてほしいと思います。

【地区英語弁論大会】

暗唱の部	3年	仙田彩歌	「The Fall of Freddie the Leaf」	
スピーチの部	3年	小笠原陸	「Pass It On」	第2位
〃	3年	矢野友佳	「Seeking Well-being」	第3位



【少年の主張大会】

3年	菅原ひなの	演題「手をあげる大切さ」	第3位（置賜ブロック大会進出）
3年	滝澤こころ	演題「A」と人との共存」	



強気で、全力で臨んだ全国大会～ソフトテニス～

愛媛県今治市で全国中学校ソフトテニス大会が、8月21日から行われました。東北大会を経て出場権を勝ち取った、榮ひとみ・齋藤由梨亜ペアがこれまでの練習・大会の成果を発揮すべく、この大会に臨みました。残念ながら、初戦を飾ることは叶いませんでしたが、私たちにたくさんの元気と勇気を与えてくれたことに感謝したいと思います。

本当にありがとうございました。これまで学んだことを、これからの人生にしっかりとつないでほしいと思います。



9月の主な予定

- 1日(金):前期期末テスト
:避難訓練(地震対応)
- 5日(火)~7日(木)
:3年 修学旅行
:2年 職場体験学習
:1年 上級学校訪問
- 11日(月):教育実習開始~29日
- 12日(火):全校朝会(学級委員認証他)
- 15日(金):壮行式①
- 16日(土)・17日(日)
:置賜新人陸上競技大会
- 20日(水):壮行式②
:特支交流学習会
- 23日(土)・24日(日)
:東置賜地区新人大会
- 25日(月)・26日(火):振替休業日
- 27日(水):新人大会結果報告会
:Super Wednesday
- 29日(金):市教科等部会(授業研)
- 30日(土):南陽みらい議会
(政策提言)

全国学力・学習状況踏査の結果から・・・

去る4月18日、3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われ、過日、その結果が公表されました。国語・数学・英語の3教科における本校の状況は以下の通りです。

- 国語：全国・県平均よりも、概ね上回る。
- 数学：全国・県平均よりも、やや下回る。
- 英語：全国・県平均よりも、やや下回る。

その中で、3教科とも、中・上位層が多い傾向にあることがわかり、まだまだ伸びる要素があると感じます。一方で、上位層と下位層の差が大きく、グラフにすると「ふたこぶらくだ」のような形になります。裏を返せば、主体的に学習に取り組んでいる生徒と受け身(宿題・課題 only)で学習を進めている生徒がはっきりしてきたということかもしれません。

2学期中盤以降は、進路決定と実現に向けた集大成を迎えます。この調査の結果だけに一喜一憂するのではなく、もう一度、自分自身を見つめ直してください。

①自分の強みは何か。

②自分の弱点は何か。

③それを踏まえて、どんな学習・学び方を目指すのか。

ガムシャラに頑張るのだけではなく、学びの戦略・戦術を担当や教科の先生方とも相談しながら自分の学習法を確立してほしいと思います。自分を信じてコツコツと積み上げることで、間違いなく効果が現れるはずですよ。

3年生に限らず、1,2年生も振り返ってみましょう！



島国である日本をグローバルな視点で見つめるために・・・ ～海洋キャリア教育セミナー～

8月30日(水)に、市内2年生が一堂に会し、海洋キャリア教育セミナーが行われました。海のない南陽市ですが、日本は海という資源に囲まれた島国であり、その日本をグローバルに見つめることができる視野を養おうと、日本海事広報協会のご協力のもと市教委が主催している事業です。2年生の皆さん、多様な学びの機会から、どんな気づきがありましたか？

【校長の独り言・・・】

九月五日から、いよいよ各学年で校外での学びが始まります。三年生は関東方面への修学旅行、二年生は市内の事業所に出向いての職場体験学習、一年生は芸工大や産業短期大学校、高校等にお邪魔しての上級学校訪問学習を行います。

さて、今回の学びの共通点として、「相手がある」ことが挙げられます。つまり、礼儀や礼節を学ぶことも求められると思っています。その礼儀と礼節。この二つはどう違うのでしょうか？

礼儀は、社会の秩序を維持するために人が守るべき行動や作法、敬意の表し方と言われます。礼儀の例を挙げると「人と会ったとき、きちんと挨拶ができる」「丁寧な言葉遣いをしている」など…。つまり、基本的なマナーや常識的な行動のことを表します。

礼節は、礼儀に対し、節度が加えられていること、と言われる。節度には「度を越さない」「ほどほど」といった意味があります。つまり、「礼節」とは「状況や相手に応じて、程よい礼儀を示すこと」を表しており、そのために必要なものこそが、相手に対する敬意です。常に相手のことを考え、相手が心地よく思うような心の伴った礼儀のことを礼節と呼びます。

そんな礼節を心にとめながら、充実した実のある学びを深めてほしいと思います。

